

今回の銀中祭りの目玉: 学校・生涯教育教材づくり

1. 理論計算(シミュレーション)・模型

- ・ 『(超)宇宙を解く』(高橋M): ブラックホールに関わるものを抽出 → やさしく
- ・ シミュレーション体験: エクセル(?) → **ぜひ試作品を!**
- ・ **科学映像(デジタル教科書 → interactive方式のコンテンツを、タブレットに、
プラネ番組)サンプル(波田野)**
- ・ ブラックホールの見え方、シャドー、波面の伝搬(高橋R)
- ・ さわるブラックホール(高橋J)、重力レンズの模型(孝森)
- ・ ブラックホールや銀河系(渦巻き)の模型(亀谷)

2. 観測データを使う、その他

- ・ 宇宙研プロジェクト(田村) → どう展開? **アプリケーション無しでできる体験版
→ 大人の科学教室(データ解析)**(『宇宙を解く』の観測版、NASAの動画を参考に)
- ・ 国立天文台も?(PAO-FITS) → 素材はあるので、かみくだく努力
- ・ 電波VLBI: M87, NGC4258(秦・秋山・三好) → 何をどう教材にする?
リアル画像を用いた動画は可能 → super-luminal motion

3. 今後のこと

- ・ ワーキンググループ会合(少人数で1-2ヶ月毎)ができればよい
- ・ 今年度もう一回(冬?), 最終年度(再来年)は大きめの会議に